

水難事故を防ぐ！

川や海での活動をもっと安全に楽しむために

水遊びや魚釣りなど、川や海は楽しくて魅力的な空間。

でも、水難事故につながる危険もある。川や海での活動をもっと楽しいものにするために、正しい知識を身につけよう。



川と海の危険

川の危険チェック！

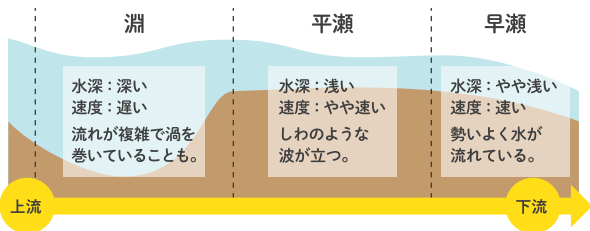
一見穏やかに見えても、場所によって流れや水深が大きく異なるよ。事故を防ぐために、遊ぶ前に危険な場所がないか確認しよう。

足元注意 コケが生えた石や岩で滑る、砂利が崩れる

転倒すると流れに巻き込まれる危険があるよ。
サンダルではなく滑りにくい運動靴などを着用しよう。

流速・水深の急な変化

浅く見えても急に深くなったり、流れが速くなる場所があるよ。
泳ぎに自信があっても油断は禁物。

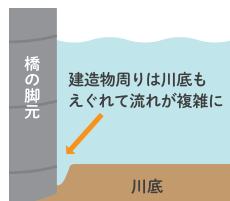


急な増水 天気の変化やダムの放流

上流で雨が降ると、その場所が晴れていても急に水位が上がる
ことがあるよ。ダム放流のサイレンが聞こえたら、すぐに川
から離れよう。

構造物付近は危険度 MAX (堰、橋脚、床止め 等)

水の流れが複雑になり、強い渦や
吸い込まれるような流れが発生する
ことがあるよ。
絶対に近づかないで！

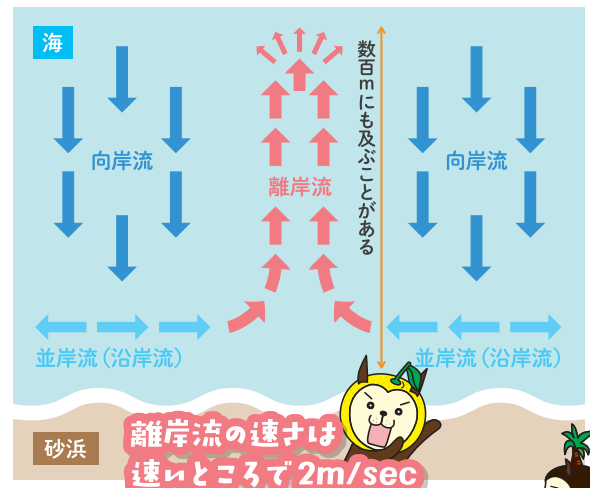


海の危険チェック！

海にも目に見えない流れや足元の危険が潜んでいるよ。
安全に楽しむために、周囲の状況をよく確認してから
遊ぼう。

離岸流 りがんりゅう 沖へと向かう強い流れ

岸から沖へ流される非常に強い流れ。
流されたら無理に岸へ戻ろうとせず、海岸と平行に移動して
流れから抜けるか、楽な姿勢で浮いて救助を待とう。



崩れ砂 急に足元が崩れる

一見普通の砂浜でも、足元の砂が突然
崩れて転落する危険があるよ。特に河口
付近で発生しやすいので近づかないで！



消波ブロック 周辺の空洞・陥没

波や水の流れて周囲の砂がえぐられ、見えない
空洞ができていことがあるよ。足を取られ
たり転落する危険があるから近づかないで！



川や海での活動・流された時のPOINT!

活動前のPOINT

水辺の事故は、事前の準備で防げるものも少なくないよ。
安全に楽しむために、事前の準備を習慣にしよう。

◆ 天気予報、現地の情報の把握

出発前に天気や川・海の状況を確認しよう。
現地でも看板やリアルタイムな情報、天候の変化に注意しよう。

◆ 装具(ライフジャケット、靴など)、 救命用具(スローロープ)の準備

ライフジャケットや滑りにくい靴を着用しよう。
救命用具を準備しておくと、他の人が
流されたときに陸上から救助できるよ。



活動時のPOINT

◆ 一人で活動しない

事故は突然起こるよ。一人では助けを呼べないから、必ず
家族や友人など複数人で行動しよう。

◆ 監視員等がいる場所にする

ライフセーバーや監視員がいる場所を選ぶことで、もし自分が
流されても早く救助を受けられるよ。

◆ 浮き輪、帽子などが流されても 追いかけない

流された物を追いかけて事故につながるケースが多くあるよ。
物はまた買えばいい。たった1つの命、大事にしよう。

◆ ダムの放流のサイレンが鳴ったら すぐに水から上がる

放流が始まると短時間で水位や流れが大きく変わるよ。
サイレンが聞こえたら、すぐに安全な場所へ避難しよう。

もしも自分が流されたら?

もしもの時は、落ち着いて行動することが命を守ることにつながるよ。

◆ 体の力を抜き、 背浮き

体の力を抜き、仰向け・
上体を起こした浮き方
など、楽な浮き方で呼吸
を確保しよう。



◆ 流れが穏やかな 場所まで流れに 身を任せる

無理に流れに逆らわず、安全な場所まで流されながら助けを
待とう。

もしも他の人が流されたら?

◆ 救急要請

自分だけで助けようとせず、すぐに通報して周囲の大人にも
助けを求めよう。

119

川での事故
(消防)

118

海での事故
(海上保安庁)

◆ 浮くもの、長いものを投げ入れる

水の中へ飛び込まず、安全な場所から
ペットボトルやクーラーボックスなど
浮くものや長いものを使うなど自分
の安全を優先した行動をとろう。

